

和歌山県立
田辺中学校

学校だより



平成29年3月14日
第 159 号 ①

学校長式辞

「卒業生に贈る言葉」

校長 中山浩樹

花の香りがただよい、春の息吹を感じさせる佳き日に本校を卒業する皆さん、ご卒業おめでとうございませう。皆さんは、義務教育9カ年の全課程を修了しました。皆さんは、本校在学の3年間、授業や学校行事、クラブ活動などに真摯に取り組み、本校の歴史に輝かしい一ページを書き加えてくれました。皆さんのこれまでの努力と研鑽を、心から讃えたいと思います。

さて、皆さんにとって3年間の中学校生活はどうだったでしょうか。楽しかったこと、感動したこと、失敗したことなど、たくさん思い出が、皆さんの脳裏に浮かんでいることでしょうか。多くの知識を身につけ、様々な体験をし、充実した中学校生活を送ったことと思います。また、卒業の喜びは、皆さんのたゆまぬ努力の結果であることは言うまでもありませんが、皆さんのことを絶えず

とを、決して忘れないでください。卒業生の皆さんの門出にあたり、京都 大徳寺 大仙院の住職でいらっしやうった尾関宗園さんの「今こそ、出発点」という言葉を贈ります。

人生とは毎日が訓練である。わたし自身の訓練の場である。

失敗もできる訓練の場である。生きていくを喜ぶ訓練の場である。今この幸せを喜ぶこともなく、いつどこで幸せになれるか。

この喜びをもとに全力で進めよう。わたし自身の将来は、今この瞬間ここにある。

皆さんは、この言葉をどのように感じるでしょうか。この3年間、学習のこと、友達のこと、クラブ活動のことな



気遣いながら、支えてくださったご家族や周囲の方々のお陰であること

どで、悩んだこともあったかと思えます。時には悲観的な考えで、後ろ向きな行動をとってしまった時があったかもしれない皆さん。そんな皆さんに、尾関さんは、



「人生は失敗もできる訓練の場であるから、今この瞬間を大切に、前向きに生きていこう。」と、語りかけています。一瞬一瞬の積み重ねが人生であり、今頑張っていることの全てが将来につながっています。その意味では毎日が訓練の場であり、うまくいかないことに悔しがる気持ち

は、自分が一生懸命に頑張ったことにより感じることでできるものであり、自分の力を精一杯發揮した時に感じられるのだと思います。成功した体験だけでなく、失敗した体験もすべてが人生の糧となるはずで

す。皆さん一人一人には、大きな力と無限の可能性があります。その力と可能性を信じ、将来の夢や目標に向かって、自ら進んで取り組み、粘り強くがんばってほしいと思います。

また、私たちに与えられた一日の時間、二十四時間は誰にでも公平に同じ長さです。その時間をどう過ごすかは、皆さん次第です。

今こそ、出発点。今こそ頑張らないうつ頑張る。今が幸せと考える、新たな目標に向かって頑張ろう。

と、本校で培った力を發揮し、様々なことにチャレンジしながら、これからの高校生活を送っていきましょう。

それでは卒業生の皆さん、皆さんの洋々たる前途が、健やかで幸せなことを、心から祈念しています。



3月・4月 行事予定

3月

- 16日 (木) 生徒会立会演説
- 21日 (火) 田辺高校入学予定者登校日
- 23日 (木) SC来校、薬物乱用防止教室
- 24日 (金) 修了式、生徒会認証式
- 26日 (日) 郡記録会 (陸上)

4月

- 5日 (水) 離任式 (定刻登校)
- 7日 (金) 高校入学式 (午前)
中学校入学式 (午後)
- 10日 (月) 新任式、始業式

